

## 令和4年度第1回今治市地域公共交通活性化協議会 議事録

日 時 令和4年5月11日(水) 9:30~11:00

場 所 今治市役所 市民会館 大会議室

出席者

・委員：土居 忠博，窪 仁志，稲荷 和重，門田 正孝，渡辺 範之，平野 勇夫，赤尾 宣宏，坂井 克巳，山本 哲司、今井 博紀，米田 隆志，三好 哲，新居田 昌彦，佐藤 宗昭，清水 駿，山崎 昭二，阿部 克也，矢野 重久，村上 恵子，菊池 勝二，一色 利彦，梶村 典久  
(欠席) 谷口 政賀津，金倉 弘武，村上 友則，砂田 篤志，松村 暢彦

・事務局：総合政策部 森部長

総合政策部 地域振興局 地域振興課

山本局長(兼)課長，鳥生課長補佐、菅課長補佐(兼)係長、八木主査

### 1 開 会

**総合政策部長：**

定刻が参りましたので、令和4年度第1回今治市地域公共交通活性化協議会を開催させていただきます。お手元に配布をしております会次第に沿って進行をさせていただきますので、よろしくお願いたします。

なお、委員総数の過半数のご出席がございますので、本会が成立しておりますことをご報告させていただきます。また、本会議は原則公開としておりますのでよろしくお願いたします。

それでは開会にあたりまして、今治市副市長土居忠博よりご挨拶を申し上げます。

### 2 あいさつ

**土居会長：**

皆様、おはようございます。本日もお忙しい中また足元の悪い中、朝早くからお集まりいただきまして誠にありがとうございます。また、平素より今治市行政につきまして各般にわたりましてご協力いただいておりますこと、この場をお借りいたしまして厚く御礼を申し上げます。

なお、本日オブザーバーといたしまして、四国運輸局から、手嶋課長、藤戸専門官がお越しいただいております。継続実施計画の策定など、各般にわたりましてこれまでご指導いただいております。改めまして、お礼申し上げます。

さて、先日までゴールデンウィークでしたけれども、大分人が戻ってきた、賑わってきたという感じもございましたけれども、今日も大勢の交通事業関係の方が来られてますけれども、コロナ禍前に比べたらまだまだなんですよという話もお聞きしました。そういう中で、大分賑わいも増えてきましたけれども、一方で、ゴールデンウィーク明けのリバウンドも非常に懸念されるところでございまして、相変わらず今治市内におきましても多くの感染者が出ている状況でござい

まして、地元の地域交通に与える影響について非常に懸念している次第でございます。

過疎化、高齢化が進みます中、住民の足である地域公共交通をどう維持していくべきか、今治市にとって大きな課題としてこれまで取り組んで参りました。その課題解決の第一歩といたしまして、今年2月に全国初の認定をいただいた、「地域旅客運送サービス継続実施計画」に基づきまして、朝倉と吉海の2地域で乗合タクシー事業を実施させていただいております。

こういう形で新しい政策をやる時にはP D C Aサイクルが大事です。Pでプランを作って、Dで実行をして、それをCでチェックして、次のAのアクションへと繋げるという一連のものです。とりあえず昨年度は、PのプランとDのドゥーまでは実施しまして、今年そのことを十分にチェックして、次のアクションへと繋げていくということを予定しております。

本年度も新たな地域で、また同じような取り組みをしていって、地域の方々の足を守るにはどうしたらいいかという議論をさらに進めることとなると思います。限られた財源の中で、どうしたら一番地域の方の足を守れるか、そういう視点を大事にしながら、更なる検討を進めて参りたいと思います。

本日はよろしくお願いたします。

#### **総合政策部長：**

本日オブザーバー参加をいただいております、四国運輸局交通政策部交通企画課長の手嶋様より一言ごあいさつをいただけたらと思います。

#### **四国運輸局 手嶋交通企画課長**

四国運輸局手嶋でございます。

感染症の話が副市長からもございましたけれども、感染症が非常に交通事業分野に大きな影響をおよぼしているのが実情でございます。J Rさんでは特急だとか長距離輸送、バス事業という高速バスとか貸切事業というのは非常に大きな影響を受けてございます。これは交通事業の根幹に関わる大事な稼ぎ頭がどんどん影響を受けているというのが実情で、地域旅客運送サービスはもともと厳しくて事業者さんがいろんな負担をして今まで維持されてきたところで、その儲け頭を失っているという非常に危機的な状況とっております。

短期的には当面の事業の継続を図っていかないといけないと思っておりますので、先般、臨時交付金の予備費が発表されまして、燃料費の関係で影響を受けた事業者さんに対して経営支援等を行いますので、ご検討いただきたいと思いますと思っております。交通事業者さんの支援というのを、力強く不断に続けていただければなと考えてございます。

中長期で見ますと、自家用車が普及してから地域交通のどのモードも右肩下がりが続いてきていて、事業者さんの努力によりサービスを維持してきたという経緯がございます。そんな中、中長期的な検討が感染症等の影響で停滞しがちですけれども、今治市さんは役割分担や事業者さんの負担軽減についてご検討いただいて、サービス継続事業にチャレンジされたというふうに思っております。今後、サービス継続事業による効率化の効果について検証をお願いします。

それから、事業者さんが引き続き今のサービスを維持できていくのかというのは結構厳しい状況だと思っております。早め早めに、中長期的にどんなサービスが必要なのか、どう活性化をしていくのかといった議論がすごく大事なのかなというふうに思っております。市を跨い

で運行されているような路線については、ミクロの観点と、あと広域的にどうしていくのかというところを今後議論が必要になってくのかなと思ってございます。

今治市さんには、今後公共交通の活性化、利便性をどういうふうに向かさせていくのかという、そういったご議論もぜひとも、引き続きいただければなというふうに思っております。また、感染症の中で新たな事業を始めていただいたことについて、大変感謝を申し上げたいと思っております。

**総合政策部長：**

それでは議事に移らせていただきます。

### **3 議 事**

#### **(1) 令和3年度今治市地域公共交通活性化事業実施報告及び今治市地域公共交通活性化協議会収支決算について**

**土居会長：**

議事1、令和3年度の今治市の地域公共交通活性化事業実施報告及び収支決算について議題といたします。

**事務局（山本地域振興局長（兼）課長）：**

議案第1号、令和3年度今治市地方公共交通活性化事業実施報告及び令和3年度今治市地域公共交通活性化協議会収支決算書につきましてご説明させていただきます。

（資料1 令和3年度今治市地方公共交通活性化事業実施報告、資料2 令和3年度今治市地域公共交通活性化協議会収支決算書を基に説明）

**土居会長：**

ただいま説明がありました決算につきまして、先に監査をしていただいておりますので、監事を代表しまして、今治商工会議所の三好委員に監査報告をお願いいたします。

**三好委員（監事）：**

失礼いたします。監査報告をさせていただきます。

去る4月27日、今治市総合福祉センター4階会議室におきまして、令和3年度の今治市地域公共交通活性化協議会の会計監査を、米田隆志監事と私三好とで行いましたところ、会計帳簿及び関係書類いずれも適正に処理されていましてことをご報告させていただきます。

**土居会長：**

ただいまの監事の報告、先ほどの事務局からの報告も含めて、皆様からご意見ご質問等承りたいと思いますが、皆さんいかがでしょうか。

事務局の方で、把握しているようであれば、例えば朝倉地域、吉海地域で何便だったのが何便になって、結局それが使われたのか使われなかったのか、今現在わかる範囲で説明をお願いします。

**事務局（山本地域振興局長（兼）課長）：**

朝倉地域につきまして、資料1をご覧いただけたらと思います。

(資料1を基に運行ルート、運行日、運行便数について説明)

**土居会長：**

実際にバスを運行をされていました瀬戸内運輸さん、瀬戸内海交通さん、それぞれどんな感じだったのか、率直な感じをお聞かせいただけますでしょうか。

**門田委員：**

問題的なものは出ていません。高齢化といっても、まだ自分の車を持っていて運転する人がやはり多いんじゃないかという感じです。

**渡辺委員：**

住民の方からのお話はないです。平均利用人数が2.5人、1.2人というのは、当社が運行させてもらった状況と変わりはないという状況です。

**土居会長：**

それでは令和3年度の事業報告及び決算報告について承認をいただいでよろしいでしょうか。

(異議なし)

## (2) 役員を選任について

**土居会長：**

続きまして議事2に移らせていただきます。役員を選任についてを議題といたします。事務局から説明を申し上げます。

**事務局(山本地域振興局長(兼)課長)：**

資料3をお願いいたします。

今治市地域公共交通活性化協議会規約第7条第1項で、本協議会の役員の任期は2年となっております。令和2年度第1回今治市地域公共交通活性化協議会におきまして、現在の役員の方を選任いたしております。約2年が経過する今回、新たに役員を選任を行おうとするものでございます。同規約第8号第1項で、会長は委員の互選により決めることとなっており、副会長1名及び監事2名は協議会の委員のうちから会長が指名することとなっております。

**土居会長：**

それでは今の説明にありました通り、まず会長の選任につきましては委員の互選ということですが、どなたかご推薦ございますでしょうか。

**菊池委員：**

地域の事情について詳しく、かつ公平な判断ができる方が望まれると思いますので、引き続き、副市長様にご就任をいただきたいと思います。

**土居会長：**

私が推薦をいただきましたけども皆様、それでよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、引き続き私が会長を務めさせていただきます。どうかよろしくをお願いいたします。

それでは副会長1名と監事2名につきましては会長が指名ということになっておりますので、私から指名させていただきます。まず副会長ですが、本協議会の設立当初から参画いた

いており学識経験者であります、松村委員にお願いしたいと思います。また、監事につきましては、引き続き今治市社会福祉協議会の米田委員、今治商工会議所の三好委員を指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

### (3) 令和4年度今治市地域公共交通活性化事業計画案及び今治市地域公共交通活性化協議会 収支予算案について

**事務局(山本地域振興局長(兼)課長):**

令和4年度の今治市地域公共交通活性化事業計画案及び収支予算案につきまして、事務局から説明を申し上げます。

(資料4 令和4年度今治市地域公共交通活性化事業計画(案)、資料5 今治市地域公共交通活性化協議会収支予算(案)を基に説明)。

事業計画(案)の(2)、路線バス事業者が、新たな事業継続検討路線として玉川地域、上浦地域の合計3路線の申し出がございました。市民の皆様の移動手段の確保を図るため、協議会としても、いろいろと施策を検討して参らなければならないと考えております。

この点に関しまして申し出がございましたバス路線につきまして、関係する委員様より概要をご説明をいただけたらと思っております。

まず、瀬戸内運輸の門田委員様、お願いいたします。

**門田委員:**

令和4年度の計画でございますが、これはあくまでも案でございますので、これからいろいろ協議しなければと思っております。

(神子森線、竜岡線、今治小松線の現況について説明)

高齢化、過疎化が進む上記3路線沿線の皆様には大変ご不便をおかけしますが、ご賢察いただき、協議にご協力のほどよろしくお願いしたいと思います。

**事務局(山本地域振興局長(兼)課長):**

次に、瀬戸内海交通の渡辺委員様、よろしくお願いいたします。

**渡辺委員:**

資料4の上浦地域について説明をさせていただいたらと思えます。

(出走線の現況について説明)

スクールでの運行をご検討いただき、一般路線についてはこの協議会の方で、何らかの方策を練っていただきたいと思っております。

**土居会長:**

はい。以上で事務局から説明が終わりました。ただいまの説明につきましてご意見ご質問等ありましたらお願いいたします。

**四国運輸局 手嶋交通企画課長:**

サービス継続事業については、サービス自体を効率化していますので、利用者が減ることについては致し方ない部分はあろうかと思っております。今治市公共交通計画の中ではバスの利用者さんは基本的には堅持していくというような目標を立てられていらっしゃるかと思います。

ので、効率性と利便性をネットワーク全体で見たときに、バランスがきちんをとれた方策であったのかどうかということですか、それから、今後フォローアップをする対象の中に、現況の利用者さんのフォローアップ分析ということは入れていただきましたけれども、一番難しいのが利用されていない方、もしかすると利用回数が減った方のアプローチが実はすごく難しく、これをやっぱり丁寧にしていけないといけないのかなというふうに思いますので、是非フォローアップをいただいて、バランスのとれた効率化であったのかどうか、きちんと分析をいただければなというふうに思っています。運輸局もこういったダウンサイジングというか、モード転換する時のニーズの掴み方ですかそういったところは、情報提供いただきながら一緒に勉強していければなというふうに思いました。

あと担い手確保は深刻な問題ですけど、具体的に取り組んでいただいている愛媛県さんとか、関係市町村さんには本当にありがとうございます。効果的な方策について把握ができていないので、教えていただければありがたいかなというふうに思いました。

それから最後に、瀬戸内運輸さんの方からいろいろ個別の系統について危機感のお示しがあったかと思うんですけども、西条市に跨がる路線も出ていたかと思ひまして、当然今治市さんだけで決める話ではないと思うのですが、これは愛媛県さんで地域公共交通網形成計画は作られていて、議論する枠組みはあろうかと思うんですけども、今後こういった状況に対して、何か議論する予定があったりするのか参考までにお伺いできればと思います。

**梶村委員：**

まだ具体的に各市の方との調整もできてない段階ではあるんですけども、手嶋課長さんがおっしゃるように、広域的に取り組むべき課題というのは結構出てきている状況でもございますので、県が設置している協議会とはまた別に事務的な検討の場というのを設けさせていただいて、事業者さんにもできれば協力いただきながら、解決策を検討したいというふうに考えております。

**四国運輸局 手嶋交通企画課長：**

事業者さんの事業の根幹に関わるような路線に関して、広域的な調整というところを効果的にやっていただけるとすごくいいのかなというふうに考えています。補助の関係でも今回今治市さんにサービス継続事業で国交省の若干の特例措置が出たりしてるんですけども、広域的に公共交通ネットワークを見直される場合について、国の補助に関する特例等々あったりしますので、必要であればご説明にお伺いしますので、どう持続的に関係者全体で支えていけるのか、ご議論できるといいのかなというふうに思ったりしました。この辺りご不明な点等があれば何なりと、お問い合わせいただければなというふうに思っております。

**土居会長：**

他に、いかがでしょうか。

**阿部委員：**

本協議会の目的として、方針1でもあるような安全で快適な暮らしを支える公共機関ということ謳ってますが、究極的には地域や住民の人が喜ぶような地域公共交通を形成することだと思うのですが、やっぱり公共だけでは必ず限界があるんですよね。自助、共助抜きで公助だけではやれないんですよ。

伯方島はバスはありますが、タクシーはないんですね。社会福祉協議会の方でいろんなことをやってもらってるんですけど、介護に係わる移動や買物に係わる移動どれも利用に制限があるんですよ。ちょっとあそこまで行きたいという方の移動がだめなんです。公共交通機関もどんどん栄えるように、今治市もどんどん踏み込んで、自助、共助も利用して、自治会も参画して、もうちょっとフリーに移動できるような仕組みを地域につくっていただきたい。コロナ禍の中、時間もいろんな社会環境も日々変わってくるんですね。やっぱり住民が喜ぶようなことを考えてこの会を進めていただきたいと思います。

**土居会長：**

はい。ありがとうございます。

大変重要な話だと思います。乗合バスがなかなか使われない中、今回実証実験中の乗合タクシーなのか、福祉タクシー、スクールバス、買い物バスなのかというのを、本当に最適なものは何か、それをやっぱりみんなで議論しながら、行政がやる部分、事業者がやる部分、地域としてやる部分を整理していく必要があるんだろうと思っていますので、今後、そういうことも踏まえて検討していきたいと思っています。

今回説明がありました中で資料4に戻っていただきたらと思うんですけど、資料4の中で、今回乗合タクシーの実証運行としまして、朝倉と吉海の両地区で今年4月の1ヶ月間だけなんですけども、とりあえずの利用状況というのが出て、表にまとめておりますけども、これについてももう少し詳しい分析を事務局に説明してもらっていいですか。

**事務局（山本地域振興局長（兼）課長）：**

資料4をご覧いただけたらと思います。

（資料4 令和4年度今治市地域公共交通活性化事業計画（案）に基づいて説明）

**土居会長：**

今の件について何かご質問等ございますでしょうか。

**梶村委員：**

吉海の方がハードユーザーのご利用が多いんじゃないかというようなご説明だったと思うんですけども、同じようにワークショップなんかも含めて、両地区で準備をされてきた中で、結果的に2つの地区で利用者の状況にかなり差が出ていますが、そこに関しては何か原因みたいなものというのは、分析されていたりするんでしょうか。

**総合政策部長：**

実際両地区で説明会をさせていただいたうえでの、この1ヶ月間の結果ではございますけど、この結果が、やはり住民の方々の意識、お考えを如実に物語っているところじゃないかなと思います。吉海はこの乗合タクシーがなければ移動できないんだという、そういう思いで利用されてる方がいらっしゃいます。朝倉についてはもう少し実績を追っていく必要はあろうかと思っておりますけど、やはりこれ必要ないんじゃないかという、そういう結論に至るっていう可能性も当然出てくると思います。住民説明会の中では、やはり皆さんこの制度をよく理解していただいて、こういうのがあったらいいよねっていうようなご意見はいただいたんですけど、やはりそれを本当に使うかっていうことになると、それぞれ考え方が違ってきているのかなと思います。吉海のこの結果というのは本当にこれがなくなったら困るっていうような、そういう思いで住

民の方がお使いになっていただいているものと私どもは理解しています。

先ほど阿部委員が言われたように、やはり行政ができること、本当にそれがなくなるときに地域としてどうするのかっていうところも、やはり私ども今からしっかり議論をしていきたい、いただきたいと思っています。この乗合タクシーだけに頼るんじゃなくて、やはり地域として何ができるのかっていうことも並行して考えて参りたいと思っていますので、よろしくお願ひします。

**村上委員：**

失礼します。私、連合婦人会から来ました村上ですけれども、吉海町に住んでおります。皆さんの意見をちょっと聞いたものですからお伝えできたらと思っております。

確かに田浦の方に限っては、本当にいつもバスを利用されてる方、必要な方がおられるので、その方は地域の人の助けを借りたり、公共交通を利用したりすることが多かったものですから、もう絶対この乗り合いタクシーっていうのは不可欠なものになっております。そしてまた地域のコミュニティが田浦方面はしっかりしているので、自治会の方や民生委員の方などがサポートしてくれて、困ったら私らも乗せてあげるけど、こういうのも利用できるよっていう口コミとかそういうものが大いに影響しているのではないかと思います。椋名の方は、最初の頃に情報の提供が少ないという意見があったりしました。椋名から支所の方に出て行くとか、買い物に行くのは割合平坦な土地なものですから、自分で行ったり、隣の人が乗せてあげようというのが多いのかと思います。

私、この乗り合いタクシーができたおかげで、地域のコミュニティが余計に発達したのではないかなと思うんですよ。バスがなくなったから乗せてあげるよとか、買い物に困ったら言ってねっていう声かけがすごく地域の住民にできてきたような気がします。やっぱり地域のコミュニティがしっかりしてないと幾ら乗合タクシーができてもなかなかそれを活用するっていうところまではいかないような気がします。私たちも高齢化していきますし、免許も返すような年齢になってきますので、乗合タクシーを地域みんなで育てていく必要があるんじゃないかなって考えております。

**土居会長：**

はい、ありがとうございました。

村上さん、ぜひ実際に乗合タクシーを使われてる方のご意見も、今後もずっと聞いていただいて、もう少しこうしてもらったらより便利になるんよねっていう話がありましたら、どんどんお寄せいただいたらと思います。また今のお話の中で、地域のコミュニティがより助け合いの気持ちが高まってきたというお話もありました。先ほど阿部委員さんからありましたように自助だけでできないところは共助もやっぱり非常に大事なことなので、ぜひそういう形で地域として、お互い助け合って、乗合タクシーなり、この事業が良い方向に向かっていけばいいかなと思っていますので、またよろしくお願ひいたします。

その他、ご意見ございますでしょうか。

さっきちょっと福祉タクシーみたいな話も出ましたけども、社協の米田委員さん何か、福祉関係の方々のニーズと重なるのかよくわからないんですけどそのあたり、何かありますでしょうか。



**米田委員：**

はい。今治市社会福祉協議会の米田といいます。介護福祉を担当しております。

やはり独居の方で、車を持っていない、身寄りの人が近くにいないという方はやはり買い物等で困るということで、介護保険事業の方で対応できるところは介護タクシーで対応しているんですけども、そうでないところは生活支援体制整備事業の方で、各地区の代表の方とお話をさせていただきながらやっております。

買い物の需要が結構多く、パンフレットを作って配布したり、あと見守りのパンフレットを作ったりしながらやっております。そしてこの乗合タクシーにつきましても、情報を得ておまして、やはりこういったものをどんどんそういった買い物に困ってる方とか、そういうところに広げていきたいというふうに考えております。

**土居会長：**

はいありがとうございました。

今話がありましたように介護とか福祉の関係もそうなんですけど、それも含めて老人クラブの矢野委員さん、高齢者の方がこういう形で、乗り合いバスから今回みたいな形で、乗合タクシーに移行していくということについては何かお話聞かれていますでしょうか。

**矢野委員：**

私、実は朝倉に住んでいます。先日、出発式に出席させていただきました。実際、どういふふうな利用状況か、これが一番肝心なところでですけども、私も先日知り合いの人にちょっと聞いてみたんですけども、あんまり反応がありませんでした。この資料を拝見させていただきまして、あまり利用が進んでいない。私は計画を見せていただいた段階で、これは素晴らしいなと思ったんですよ。

なぜ朝倉であまり利用がないのか、そこらあたりをしっかりと分析するということと、やはり事業をするにあたってその周知徹底、すごく便利になるぞという盛り上がりのようなものが十分ではなかったのではないかと思ったわけなんですけれども。やはり一番大事なのは、どんな良い計画でも問題点は必ず出てくると思うんです。その時に、先ほどお話もあったようにいかにチェックして、それをより良いものにしていくか、ここが非常に大事ではないかと思います。それで、私なりに地域の状況を調べるというか聞いて、報告させていただける機会がありましたら、報告させていただこうかなと思っております。

本当に、いかに計画を住民の方々の生活、ニーズに合ったものにしていくか、これからが本当に正念場だと思います。

**土居会長：**

はいありがとうございました。

ぜひ本音のところを引き出していただいて、事務局の方にお寄せいただいたらと思いますのでよろしく願いいたします。

それでは他に意見もございませんようなので今回の令和4年度のこの事業計画（案）及び予算（案）につきましても、ご承認いただけますでしょうか。

（異議なし）

#### (4) 生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）（案）について

事務局（山本地域振興局長（兼）課長）：

議案第4号、生活交通改善事業計画、バリアフリー化設備等整備事業案についてご説明させていただきます。資料6をご覧ください。

（資料6 生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）（案）を基に説明）

土居会長：

ただいま説明がありました、福祉タクシー車両の導入につきまして皆さんいかがでしょうか何かご意見等ございますでしょうか。

菊池委員：

愛媛運輸支局の菊池でございます。

バリアフリー化をお進めいただきましてありがとうございます。また今回の計画は、マツキ様がスロープつき車両を1台入れられるということでございますが、他のタクシー等もこの事業をぜひご利用いただけたらと思います。

土居会長：

はい。ありがとうございます。

ぜひ前向きにご検討いただけたらと思いますのでよろしくお願いします。

それではご意見ございませんようですので生活交通改善事業計画案の策定につきまして、承認するというところでよろしいでしょうか。

（異議なし）

土居会長：

ありがとうございます。

それでは以上で本日の議題がすべて終了いたしました。その他全般で何かこの席で言っておきたい話などございますでしょうか。

窪委員：

昨日、弊社の収支の決算報告をプレスをさせていただきます、その決算内容の質問よりも、それに附属して運賃値上げの検討もしたいなというところの質問が8割ぐらいあったと聞いておまして、また17日に線別収支というJR四国内の各線区の状況を一覧という形でプレス発表させていただきますので、ご理解の方よろしく願いいたします。

交通結節点である駅の利便性を向上すればそれが一番いいということで、我々も様々な事業を展開しております。また今までで他の交通モードとの連携というところはあまり重視していなかったところもございますが、持続可能な公共交通のネットワークを第1に考えてダイヤの構成等を考えさせていただいておりますので、こういう場でバスやタクシーなどの交通モード間のお話ができれば、非常にありがたいと思っております。

土居会長：

はい。ありがとうございました。

四国運輸局 手嶋交通企画課長：

報道で鉄道の話が全国的に出ているかと思うのですが、今いろいろな検討がなされているのは、まさに廃線どうこうという話ではなくて、危機的状況にある鉄道サービスについても地域

全体でどういうふうを考えていくのかということをご議論いただくために、こういった状況なのかということをおそらく、JR各社さんが出されていったることかと思っております。

JR四国さんも基本的には幹線ネットワークを担っていて、しかも岡山で新幹線に接続をしたりするので、なかなか地域の事情でサービスを変えるということは難しいのが実情なんですけど、やっぱり地域全体で鉄道ネットワークについて、鉄道サービスについてどう思っているのかということ、市町村それから県のそれぞれのレベルで、きちんとニーズを吸い取ってそれをJRさんに提供してコミュニケーションをしっかりと図っていくことが重要で、活性化協議会もそうですし、ネットワーク懇談会のワーキンググループなんかもあったりするかと思いますので、そういったところでご議論を重ねていただければと思っております。

**土居会長：**

ありがとうございます。松山でもバスタの計画でバスと鉄道の連携っていうのは非常にこれから議論になってくると思いますけども、ぜひ今治でも鉄道とバスと船とタクシーという形で、地域の大切な公共交通を、みんながうまく使えるような形で、大変な状況が続くと思いますけども、これからもぜひ皆さんしっかり頑張っていただけたらと思いますので、どうかよろしくお願いいたします。

#### 4 閉会

**土居会長：**

本日の議事はすべて終了いたしました。それでは、以上で協議会を終了させていただきます。本日はどうもありがとうございました。

(了)